

事務事業名		ものづくり高度人材育成事業		会計		一般会計		事業種別		政策		開始		19		終了							
課等名		工業課		係等名		工業振興係																	
基本計画上の位置づけ		政策		1		多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり																	
		施策		12		未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化																	
目的		対象(誰・何を)		企業の研究者・技術者								指標名及び単位				24年度数値							
		意図(どうい状態にするか)		企業で抱えている課題を解決する。修士称号を取得し、研究開発型企業を育成する。								対象指標				学生を送り込んだ企業数				1			
		向上させたい上位施策の成果指標		新規就業者数(新卒のみ)(人)								対象指標				入学学生数				2			
目標		種別		指標名及び単位								24年度計画		24年度実績		25年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)			
		成果指標		解決した課題数								2		4		2		2					
		成果指標		称号取得数								2		4		2		2					
定性目標																							
事業概要		<p>信州大学工学部と連携し、社会人を対象とした企業の技術課題を研究テーマに専門分野を深く研究する高度な専門職人材の育成を図る。</p> <p>信州大学大学院電気・電子工学専攻 精密機器制御システム技術者育成コース(2008年4月入学者) モバイル制御機器コース(2009年4月入学者)</p> <p>ものづくり高度人材育成のために大学及び研究機関等に送り込んでいる企業を対象に、定額補助を行う。</p>																					
事業内容				名称								活動指標											
24年度事業内容		1 大学院コースの運営 (1) 大学院運営方法の検討。(遠隔講義システムの有効活用) (2) 第5期生2年目・第6期生に向けたカリキュラムの作成を行なった。 (3) 第6期生社会人学生の募集を行なった。(4月入学・10月入学) (4) 企業への大学院の積極的なPRを行なった。(個別企業訪問による大学院の紹介)				1 (1) 開講回数 (2) 入学者数 (3) 全大学院生				1 (1) 15回 (2) 2人 (3) 4人													
事業コスト		23年度決算額		24年度予算額		24年度決算額		25年度予算額		特定財源内訳、補足													
事業費計(千円)①		3,000		3,000		3,000		3,000															
国庫支出金																							
県支出金																							
起債																							
その他																							
一般財源		3,000		3,000		3,000		3,000															
人件費計(千円)②		107		72		72		72															
正規職員所要時間		30		20		20		20															
臨時職員所要時間																							
総事業費①+②		3,107		3,000		3,072		3,000															
事業内容・目標達成状況の振り返り		モバイル制御コースと合わせて、4名が修士課程を修了し、修士称号を得ることができた。また、修士課程の研究を通じて、企業が抱える課題を解決することができた。																					
改革改善の考え方		①問題点		既存の事業を検証する中で、多くの大学と連携を図り企業の様々なニーズに対応できる事業とされたい(市議会産業経済委員会より)																			
		②改革提案		他地域は、社会人大学院コースを縮小または廃止している状況にある中で、現在の大学と引き続き現状の専門コースを継続維持していきたい。平成25年度から信州大学と連携して特別課程1年コースを企画運営したい。																			